第6次高畠町総合計画
後期基本計画

令和6年度における指標の達成状況及び施策の評価について

高畠町

― 目 次 ―

1.将来像と基本目標の体系図について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2.後期基本計画における関連指標について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

3. 重要業績評価指標（KPI）の評価基準について・・・・・・・・・・・・・・・・・3

4.指標の達成状況

（1）基本目標ごとの指標数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

（2）各評価の全体に占める割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（3）「めざす町の姿」ごとの進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

（4）「まちづくりの基本目標」ごとの進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

1. 将来像と基本目標の体系図について

令和元年度を初年度とする第6次高畠町総合計画（令和元年度～10年度）において、みんなでめざす町の将来像を「ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」」と表現しました。

高畠町の未来において一人ひとりが『しあわせ』になることを実現するため、ライフステージごとに10項目の「めざす町の姿」を設定し、28項目の基本目標を掲げています。

めざす町の姿とまちづくりの基本目標は、令和6年度からの後期基本計画においても継続しています。

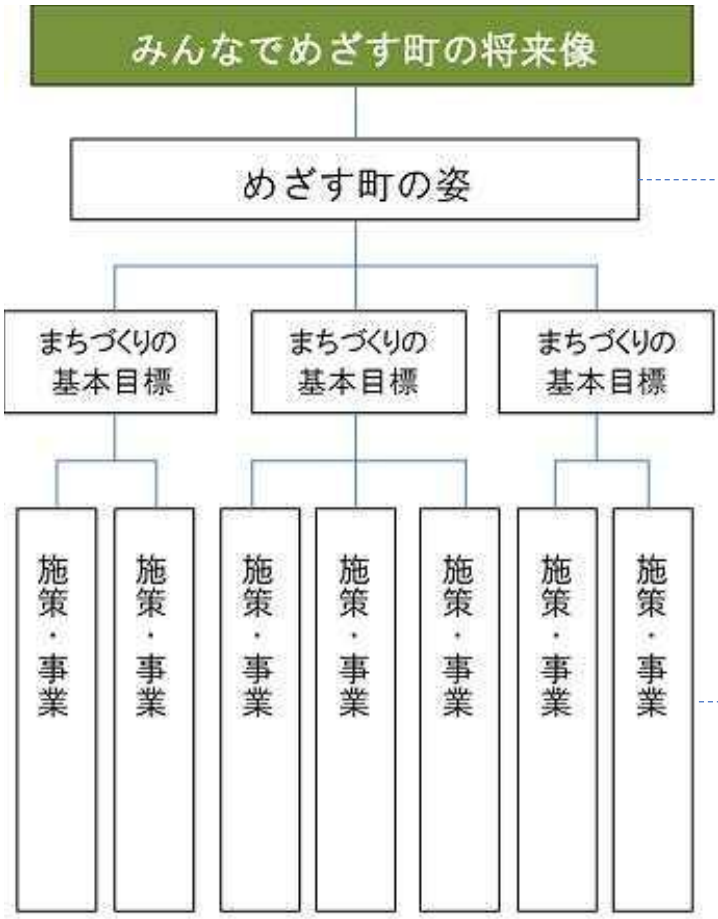
将来像	共通視点	ライフステージ		めざす町の姿	まちづくりの基本目標
ゆきかう「またね∞」あふれる「うふふ∞」	楽しむ（うふふ）×つながる（またね）×未来へつなぐ（∞無限大）	高畠町で暮らす人の「しあわせ」のために	「生まれてくる」ひとのために	高畠町で子どもを産み育てたい人が増えている	新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する
					安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える
			「育つ」ひとのために	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	子どもが健康にすくすく育つ環境を整える
					子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす
					課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える
			「学ぶ」ひとのために	学びの場が充実して、魅力ある“高畠人”が育っている	子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う
					学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる
					「ちがい」を認めることができる人を増やす
			「働く」ひとのために	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす
					資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる
				夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす
					新しいビジネスを創出しやすい環境を整える
			「暮らす」ひとのために	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている	自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす
					安心して快適に生活できる環境を整える
					みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる
				一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす
					地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる
			「年を重ねた」ひとのために	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす
					住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える
			「次世代の」ひとのために	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	地域の自然や生態系を守る活動を広げる
					持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす
					歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす
					夢や志を持ち活躍する若者を増やす
					協働でまちづくりを進めるための環境を整える
		高畠町とつながる人に	「町外に暮らす」ひとのために	高畠町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	町内外に町の魅力を効果的に発信する
					高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす
					交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす
					移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす

2. 後期基本計画における関連指標について

第6次総合計画は、28項目のまちづくりの基本目標を定め、それぞれに成果目標を設定しています。その目標達成のため施策を設定し、一つひとつに具体的な数値等で示した関連指標を設定しています。

前半5年間（前期基本計画）の最終年度である令和5年度に、前半期間における社会情勢の変化、基本目標や各施策の進捗状況を総合的に勘案し、施策や指標の大幅な見直しを行い、後期基本計画を策定しました。そのうえで後期基本計画は、新たに66項目の施策と116項目の重要業績評価指標（KPI）を設定しました。

指標は後期基本計画の最終年度である令和10年度の目標値に対し、達成状況を毎年確認して公表することとしており、今回は後期基本計画の初年度となる令和6年度の達成状況等について分析・評価したものです。



基本構想に示した
１０項目の
めざす町の姿

１０項目の「めざす町の姿」を実現するための２８項目の「まちづくりの基本目標」を示しています。

まちづくりの基本目標を達成するための方法や対策を示しています。施策ごとに、以下の内容を記載しています。

・現状と課題
・成果目標（ＫＧＩ※1）
・施策の体系
・施策を具現化する部門別計画等
・施策の概要
・評価指標（ＫＰＩ※2）

※1 KGI（Key Goal Indicator）
重要目標達成指標。最終目標を定量的に評価する指標

※2 KPI（Key Performance Indicator）
重要業績評価指標。KGIを達成するための各プロセスが適切に実施されているかを定量的に評価するための指標

3. 重要業績評価指標(KPI)の評価基準について

第6次高畠町総合計画後期基本計画における重要業績評価指標(KPI)の評価方法については、目標値の設定方法に合わせ、次の考え方により進捗度を算出し評価します。

① 毎年度、令和10(2028)年度の目標値と同じ数値を目標としている場合、目標値を超えた指標は目標値に対する実績値で算出。実績値が現状値を超え目標値未満の指標は、目標値と現状値の差数に対する現状値と実績値の差数の割合で算出。

② 目標値を累計の数値とする場合、実績値が目標値未満の指標は「目標値-前年値」を最終年度までの年数で割り返し、前年値に加えた値を算出し、その数値に対する実績値で算出。実績値が累計目標値を超過した場合、目標値に対する実績値の割合で算出。

③ 「未実施」や「未設置」の現状値に対して、「実施」や「設置」が目標値となっている場合、目標達成を「A」評価、未達成を「D」評価とする。

A: 目標達成率 100%以上
B: 目標達成率 60～99%
C: 目標達成率 20～59%
D: 目標達成率 0～19%
E: 「増加する目標に対して、実績値が当初から減少した」あるいは「減少する目標に対して、実績値が当初から増加した」
-: 未着手、当該年度に調査なし、評価不能等

≪ 評価方法を前期から変更した理由 ≫

前期基本計画の進捗評価については、目標値への達成状況に応じて、「◎＝達成」「○＝現状値より改善」「△＝現状値と同等」「×＝現状値より後退」の4段階の記号を用いて評価していました。この手法は、目標達成度合いが直感的に分かりやすい一方で、累計の数値を目標としている指標の途中評価や、年間値を目標とした指標がどの程度進捗したのかが不明瞭になる課題がありました。

このことを踏まえ、後期基本計画の進捗評価については、年間値目標、累計値目標ともに進捗度を数値化して評価の曖昧さを排除し、累計値目標においては年次進捗の数値化による途中評価を明確化しました。新しい評価基準によって単年度における進捗度の可視化や詳細分析による施策推進のための活用を見込むことが期待できます。

新評価基準では、A及びBランク(60%以上達成)は施策の進捗が順調であり、引き続き現状の取組みを維持していくべきもの、Cランク(20～59%)は進捗が緩やかであり、取組みを維持しつつ今後更なる注力を図るべきもの、D及びEランク(19%以下)は施策の進捗が停滞しており、施策への取組みに課題があると考えられ、アプローチの改善を図る必要があるといえます。

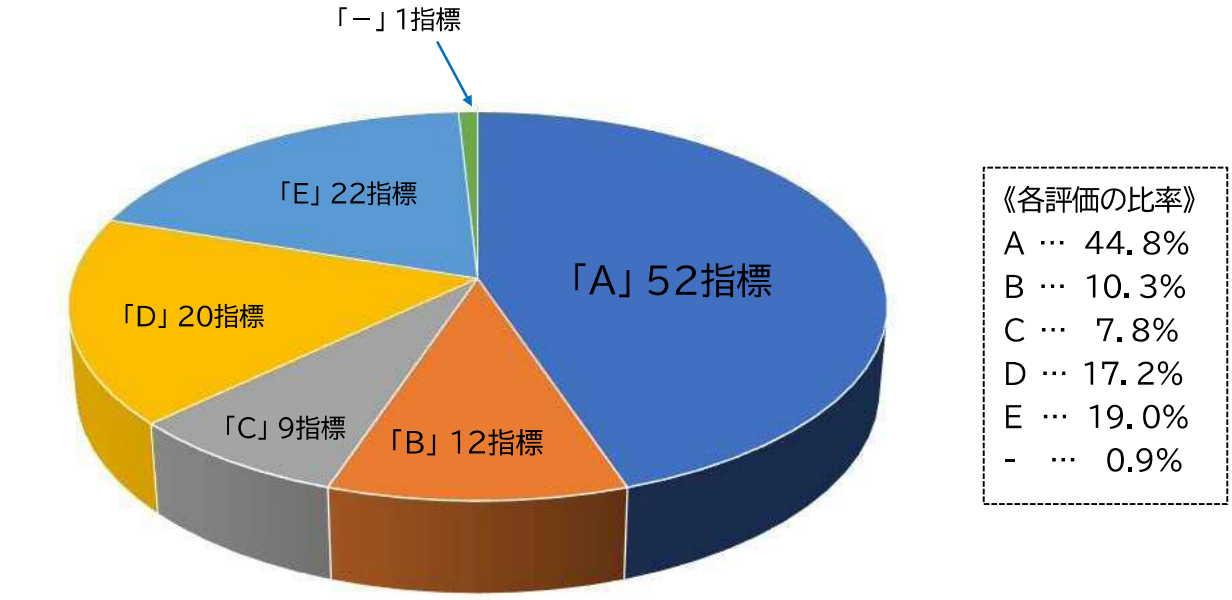
4. 指標の達成状況

(1)基本目標ごとの指標数

下表のとおり、まちづくりの基本目標ごと合計116の評価指標を設定し評価を実施しました。

No.	めざす町の姿	まちづくりの基本目標	指標数
1	高畠町で子どもを産み 育てたい人が増えている	① 新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	3
		② 安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	3
2	みんなが楽しみながら 子どもを大切に育てている	③ 子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	5
		④ 子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	4
		⑤ 課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	2
3	学びの場が充実して、 魅力ある“高畠人”が育っている	⑥ 子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	5
		⑦ 学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる	6
		⑧「ちがい」を認めることができる人を増やす	2
4	技の継承と新たな取り組みで、 産業に活力が生まれている	⑨ 若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす	7
		⑩ 資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる	7
5	夢や希望が実現しライフスタイル に合った働き方ができている	⑪ 一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす	6
		⑫ 新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	5
6	安心して生活できる環境があり、 心豊かに暮 らしている	⑬ 自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	2
		⑭ 安心して快適に生活できる環境を整える	7
		⑮ みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	4
7	一人ひとりが健やかで、 ゆるやかに支え合っている	⑯ 生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	5
		⑰ 地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	5
8	年を重ねても誰もが自分らしく いきいきと暮らしている	⑱ 生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす	3
		⑲ 住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える	10
9	みんなで未来に向けた まちづくりを進めている	⑳ 地域の自然や生態系を守る活動を広げる	4
		㉑ 持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	4
		㉒ 歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	2
		㉓ 夢や志を持ち活躍する若者を増やす	3
		㉔ 協働でまちづくりを進めるための環境を整える	2
10	高畠町の魅力が伝わり、 訪れる人、戻る人、 移り住む人が増えている	㉕ 町内外に町の魅力を効果的に発信する	2
		㉖ 高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	3
		㉗ 交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす	3
		㉘ 移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	2

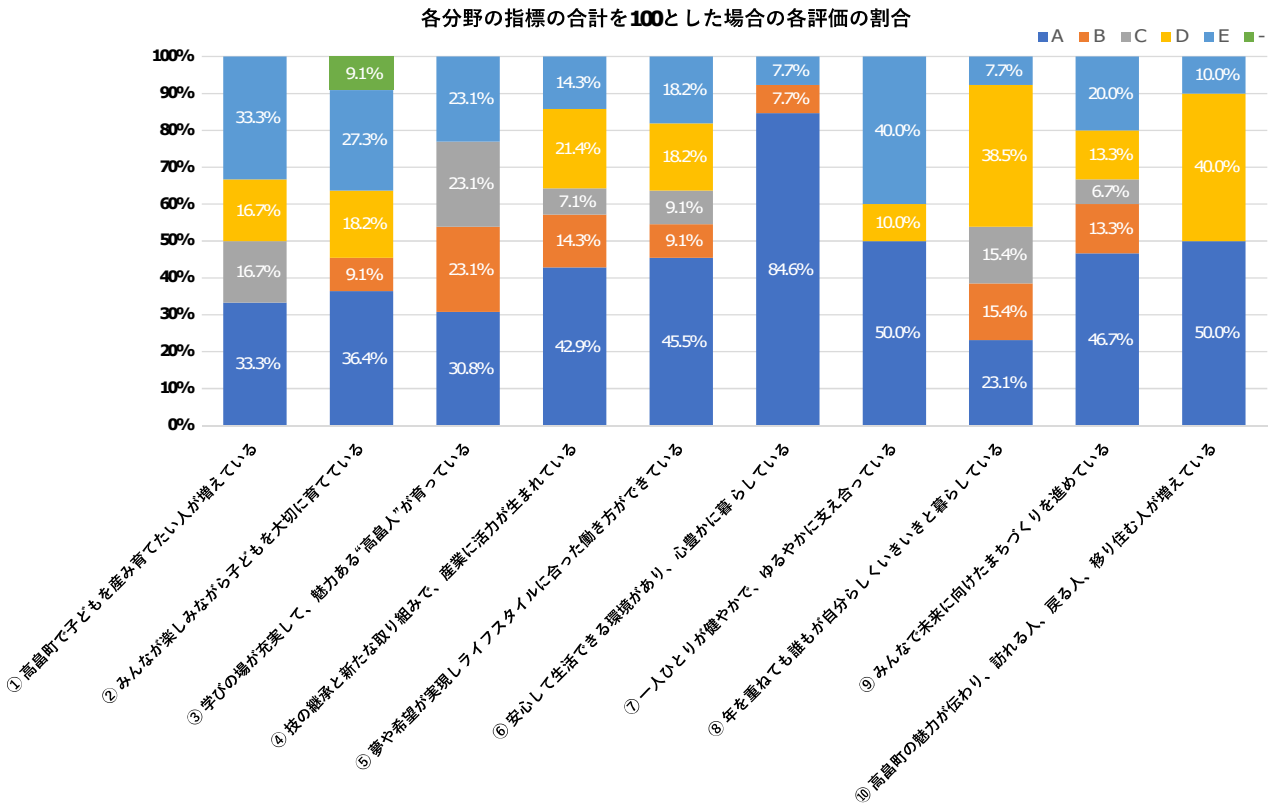
(2)各評価の全体に占める割合



施策の進捗が順調であると判断できるAランクとBランクが合わせて全体の過半数を超えており、後期基本計画の1年目である令和6年度は、全体として堅実に施策の進捗が進んだといえます。

一方で、進捗の停滞を示すDランク及びEランクの合計は全体の約36%を占めており、そのうち、計画策定時の現状値(令和5年度値)よりも後退した指標はAランクに次ぐ22指標(19%)となっています。

(3)「めざす町の姿」ごとの進捗状況



【分野ごとの進捗】

「めざす町の姿」ごとの進捗に関しては、7分野においてA及びBランクの合計数が50%以上となっています。

前期基本計画において比較的進捗率が高く、町の重点取組み項目でもある「高畠町で子どもを産み育てたい人が増えている」、「みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている」の2分野で進捗率が低い結果となりました。前期基本計画からの施策を継承している項目も比較的多い分野ですが、コロナ禍明けの労働事情や価値観の多様化が進んだことにより、従来のアプローチ方法では進展しない施策もある状況が考察されます。

「安心して生活できる環境があり、心豊かに暮らしている」の分野が、昨年に引き続き順調に推移しています。この分野は社会基盤の整備に関する項目を含む分野です。ハード整備事業がそれぞれ個別の年次計画を持って、その計画に沿って進んでいることを示しており、人の流れや取組みに左右されない分野であることも順調な要因として挙げられます。

「年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている」についても、子育ての2分野同様にA及びBランクの合計数がCランク以下の合計数を下回っています。この分野は高齢者の社会参加や医療・介護、支え合い社会に関する分野であり、進捗が低調なことの要因として、地域における体制の整備が進んでいないこと、この分野における周知や理解が進んでいないことが挙げられます。本町でも今後高齢化が一層進展し、超高齢化社会を迎える中で、介護予防の一層の理解促進、地域の受け入れ体制や担い手の確保が喫緊の課題といえます。

「一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている」分野の健康に関する意識を高め生活習慣病を防ぐ基本目標については、3つの指標がすべて現状値から後退しており、Eランクの比率が最も大きくなっています。生活習慣病の予防が、結果としてその後のライフステージやめざす町の姿における施策の推進につながっていきますので、端緒となる分野の取組みの改善が重要です。

【課題と今後の対応】

令和6年度の進捗評価においては、22指標についてE評価となりました。評価基準によれば進捗の停滞を意味していますが、それら低評価の指標は他の指標（施策）と関連があり、個別の施策や指標に視点を限定せず俯瞰的な視点に立った取組みを進めていかなければ前進につながらないものがあります。

一例を挙げれば、前述のように健康に関する進捗の停滞が生活習慣病の発症につながり、さらには要介護者の増加につながっていくと考えられますし、 耕作放棄地の増加についても、増加の要因には農業者の高齢化による離農や担い手不足、有害鳥獣による被害など、様々な課題が複合的に存在し、それらが結果として面積の増加という事象に現れていると分析できます。

また、同様にEランクとなった要介護認定率については、平成24年度には20%を超えていましたが、介護予防や健康に関する施策を進めてきたことにより、現在は17%台にまで減少しています。この分野に関しては個別計画を策定して取組みを進めてきており、そのことによって着実に改善が図られてきています。全世代に占める後期高齢世代が増加しているため、年度によって認定率が上下していることもありますが、基本的には個別計画に基づき現状の取組みを継続していくことで今後の改善が期待できると思われます。

このように、進捗評価による結果については、背景に様々な要因や課題があったうえで最終的に表層化し

たものや進捗評価だけで判断できない取組みなども進んでいることから、結果のみをもって事業の成否を測ることには注意が必要です。

結果の善し悪しに囚われることなく、背景にある取組みの過程や関連の取組み等、評価の対象にならない部分を含めた全体に意識を向けながら施策を前進させ、結果として進捗評価に反映されていくような取組みを進めていくものとします。

(4)「まちづくりの基本目標」ごとの進捗状況

まちづくりの基本目標	指標合計	A	B	C	D	E	-
① 新しい家庭を築き、家族を増やすことを応援する	3	1			1	1	
② 安心して子どもを産める環境やサポート体制を整える	3	1		1		1	
③ 子どもが健康にすくすく育つ環境を整える	5	2	1			2	
④ 子育ての負担を軽減する環境やサービスを増やす	4	1			1	1	1
⑤ 課題を抱える子を育てる親が安心できる環境を整える	2	1			1		
⑥ 子どもたちの中にある力を伸ばす教育を行う	5	2	2			1	
⑦ 学ぶ気持ちを大切にし、地域の教育力をアップさせる	6	2		2		2	
⑧「ちがい」を認めることができる人を増やす	2		1	1			
⑨ 若者があこがれる「かっこいい」産業を増やす	7	2	2		1	2	
⑩ 資源や人のつながりで、地域産業をもりあげる	7	4		1	2		
⑪ 一人ひとりの生活にあった多様な働き方の選択肢を増やす	6	3			1	2	
⑫ 新しいビジネスを創出しやすい環境を整える	5	2	1	1	1		
⑬ 自然とともに、心豊かな暮らしを楽しむ人を増やす	2	2					
⑭ 安心して快適に生活できる環境を整える	7	7					
⑮ みんなで地域に気を配り「もしも」の時に助け合えるしくみを広げる	4	2	1			1	
⑯ 生涯にわたって健康で活動的に生活できる人を増やす	5	2				3	
⑰ 地域の中でゆるやかに支え合うしくみを広げる	5	3			1	1	
⑱ 生きがいを持ち人生を楽しんでいる人を増やす	3	1	1			1	
⑲ 住み慣れた地域で、安心して暮し続けられる環境を整える	10	2	1	2	5		
⑳ 地域の自然や生態系を守る活動を広げる	4	2				2	
㉑ 持続可能な環境づくりに取り組む人を増やす	4	1	2	1			
㉒ 歴史、文化遺産を守り活用し、伝承する人を増やす	2	1			1		
㉓ 夢や志を持ち活躍する若者を増やす	3	1			1	1	
㉔ 協働でまちづくりを進めるための環境を整える	2	2					
㉕ 町内外に町の魅力を効果的に発信する	2	1			1		
㉖ 高畠町ならではの発想による観光を生み出し、訪れる人を増やす	3	1			1	1	
㉗ 交流力を高め、高畠町を応援する人や地域を増やす	3	2			1		
㉘ 移住・定住しやすい環境を整え、戻ってくる人、移り住む人を増やす	2	1			1		
合　計	116	52	12	9	20	22	1

第6次高畠町総合計画　後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標(KPI)	目標値	現状値	R6末実績	目標値の種別	KPI所管課	進捗率	R6評価
1)-①-1	家庭を築くことについて理解を深める機会をつくります	いのちの授業やふれあい体験を実施した学校数	4校	1校	1校	累計	健子課	0.0%	D
1)-①-2	出会いの場や交流できる機会を増やす支援をします	結婚推進関連事業への参加者数(年間)	100人	76人	42人	年間	企画課	－	E
1)-①-3	家庭を持ちたい人や子育て世帯の生活を応援します	高畠町移住定住促進事業による支援件数(累計)	170件	140件	160件	累計	建設課	109.0%	A
1)-②-1	こどもを産み育てたい人を応援します	妊娠中仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	95.0%	92.0%	91.8%	年間	健子課	－	E
1)-②-1	こどもを産み育てたい人を応援します	ゆったりとした気分でこどもと過ごせる時間がある母親の割合	90.0%	75.2%	78.4%	年間	健子課	21.6%	C
1)-②-2	妊娠から子育てまで、切れ目のない支援を行います	産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができたと回答した者の割合	95.0%	94.1%	95.3%	年間	健子課	100.3%	A
2)-③-1	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	子育て支援センター利用者数(累計)	65,000人	12,994人	38,842人	累計	健子課	166.0%	A
2)-③-1	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	子育てボランティア登録数(累計)	75	15	39	累計	健子課	144.4%	A
2)-③-1	地域全体で子どもがのびのびと育つ環境をつくります	学びと交流の推進事業(サード)参加者数	400人	401人	358人	年間	健子課	－	E
2)-③-2	こどもの健康を守る取り組みを行います	3歳児でむし歯のない幼児の割合	95%	91.5%	91.2%	年間	健子課	－	E
2)-③-3	こどもの発達過程や特性に応じた支援を行います	育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	95.00%	50.20%	84.1%	年間	健子課	75.6%	B
2)-④-1	ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	積極的に育児に参加している父親の割合	75.0%	70.5%	67.9%	年間	健子課	－	E
2)-④-1	ゆとりある子育てができるよう、仕事と子育ての両立を支援します	病児保育施設の登録者数	300人	43人	246人	累計	健子課	261.7%	A
2)-④-2	子育て世代の経済的負担を軽減します	資格取得等の支援による就労人数(累計)	5人	4人	4人	累計	健子課	0.0%	D
2)-④-2	子育て世代の経済的負担を軽減します	現在の暮らしの経済的状況を総合的にみて苦しいと感じる保護者の割合	減少	R6年度より問診項目追加	22.3%	年間	健子課	ー	ー
2)-⑤-1	地域で安心して暮らせるよう保育・教育・医療体制を整えます	児童発達支援センターの設置	1か所	未設置	未設置	累計	福祉課	0.0%	D
2)-⑤-2	親同士が悩みを共有できる機会をつくります	障がい児が気軽に参加できる地域の居場所の数	1か所以上	0か所	2か所	累計	福祉課	200.0%	A
3)-⑥-1	人生を自ら切り開き豊かにする力を育みます	自己表現力や課題解決能力の向上を意識して学習活動全般に取り組むこどもの割合	76.0%	75.3%	81.5%	年間	教総課	107.2%	A
3)-⑥-1	人生を自ら切り開き豊かにする力を育みます	学習にコンピューター・ICTを活用しているこどもの割合	67.5%	62.5%	80.5%	年間	教総課	119.2%	A
3)-⑥-2	全てのいのちを大切にし、他者を思いやり尊重する心を育てます	規範意識の高いこどもの割合	88.5%	87.5%	88.3%	年間	教総課	80.0%	B
3)-⑥-3	郷土愛にあふれた"高畠人"を育てます	地域・社会をよくしたいという考えを持ち、自ら地域行事に取り組むこどもの割合	76.1%	74.3%	75.6%	年間	教総課	72.2%	B
3)-⑥-4	安心して学べる教育環境を整えます	学校への地域人材の参加人数(年間)	1,000人以上	994人	857人	年間	社教課	－	E
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	生涯学習講座への参加人数(年間)	維持	15,000人	14,120人人	年間	社教課	－	E

第6次高畠町総合計画　後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標(KPI)	目標値	現状値	R6末実績	目標値の種別	KPI所管課	進捗率	R6評価
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	図書館の利用者数	48,000人	43,471人	53,123人	年間	社教課	110.7%	C
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	図書館の貸出件数	96,000人	89,433人	91,047人人	年間	社教課	24.6%	
3)-⑦-1	誰もが学べる環境をつくります	社会教育施設の利用者数	50,000人	47,561人	50,178人	年間	社教課	100.3%	A
3)-⑦-2	地域のつながりによる学びの場を広げます	地区公民館の独自講座の参加人数	1,000人	911人	942人	年間	社教課	34.8%	C
3)-⑦-3	学んだことを生かし、人を育てるしくみをつくります	出前講座の利用者数	2,000人	1,807人	1086人	年間	社教課	－	E
3)-⑦-3	学んだことを生かし、人を育てるしくみをつくります	民話フェスタの発表者数	55人	53人	56人	年間	社教課	101.8%	A
3)-⑧-1	一人ひとりを大切にし、お互いを尊重する心を育てます	3歳6ヶ月児検診の問診において、父親が育児休暇を取得したと回答した数	15人	2人	10人	年間	健子課	61.5%	B
3)-⑧-2	差別をなくし、様々な立場の人に寄り添った適切な支援を行います	町広報誌、ホームページ、SNSによる人権啓発の回数(年間)	25回	14回	19回	年間	企画課	45.4%	C
4)-⑨-1	「もうかる」「かせぐ」産業づくりを支援します	個人申告農業収入1,000万円以上の経営体数(年間)	188人	171人	193人	年間	税務課	102.6%	A
4)-⑨-1	「もうかる」「かせぐ」産業づくりを支援します	個人申告営業収入1,000万円以上の事業者数(年間)	198人	180人	176人	年間	税務課	－	E
4)-⑨-1	「もうかる」「かせぐ」産業づくりを支援します	法人町民税課税総額(年間)	143,514千円	130,467千円	117,013千円	年間	税務課	－	E
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	町の支援によるスマート農業導入事例数(累計)	3件	1件	1件	累計	農林課	0.0%	D
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	新規就農者数(累計)	40人	30人	34人	累計	農林課	106.2%	A
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	中小企業設備投資等補助金交付決定数(累計)	50件	8件(R5)	15件	累計	商観課	91.4%	B
4)-⑨-2	「チャレンジ」を支援します	先端設備導入件数(累計)	60件	7件(R5)	11件	累計	商観課	62.5%	B
4)-⑩-1	「ひと・もの・こと」の掘り起こしを支援します	人材育成事業参加者数(累計)	120人	26人(R5)	119人(R6)	累計	統合	265.6%	A
4)-⑩-1	「ひと・もの・こと」の掘り起こしを支援します	ふるさと納税返礼品登録商品数(年間)	1,100商品	1,014商品	1,561商品	年間	商観課	141.9%	A
4)-⑩-1	「ひと・もの・こと」の掘り起こしを支援します	中小企業設備投資等計画企業数(年間)	10事業所	12事業所	11事業所	年間	商観課	110.0%	A
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	地産地消取組事例数(累計)	20件	17件	47件	累計	農林課	235.0%	A
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	6次産業化支援事業数(累計)	3件	1件	1件	累計	農林課	0.0%	D
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	タウンプロモーションの実施回数(国内外)(年間)	10回	8回	9回	年間	商観課	50.0%	C
4)-⑩-2	「ひと・もの・こと」のつながりを支援します	たかはたブランド商品取扱店舗数(年間)	250店	221店	225店	年間	商観課	13.8%	D
5)-⑪-1	多様な働き方を支援します	シルバー人材センター会員1人あたり受注件数(年間)	5.8件/人	5.5件/人	5.2件/人	年間	商観課	－	E

第6次高畠町総合計画　後期基本計画　評価指標（KPI）ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R6末実績	目標値の種別	KPI所管課	進捗率	R6評価
5)-⑪-1	多様な働き方を支援します	やまがたスマイル企業認定数（町内）	10企業	3企業	6企業	累計	商観課	136.3%	A
5)-⑪-1	多様な働き方を支援します	コワーキングスペース月当たりの利用者数	37.5人／月	32.9人／月	30.1人／月	年間	商観課	－	E
5)-⑪-2	やりがい・生きがいのある仕事との出会いを支援します	小中高大生の職業体験機会等の回数（年間）	3回	2回	3回	年間	商観課	100.0%	A
5)-⑪-2	やりがい・生きがいのある仕事との出会いを支援します	就農前支援（研修）者数（累計）	8人	4人	7人	累計	農林課	145.8%	A
5)-⑪-2	やりがい・生きがいのある仕事との出会いを支援します	キャリアセミナー開催回数（年間）	3回	2回	2回	年間	商観課	0.0%	D
5)-⑫-1	創業・起業を「してみたい」環境を整えます	創業・起業関連事業（相談、セミナー、研修会等）の開催回数（年間）	45回	31回	31回	年間	商観課	0.0%	D
5)-⑫-1	創業・起業を「してみたい」環境を整えます	公式SNS上における創業・起業関連の情報発信回数（年間）	20件	11件	16件	年間	商観課	55.5%	C
5)-⑫-2	創業・起業を支援します	新ビジネス創業支援事業者数（累計）	25件	4件（R5）	10件	累計	商観課	121.9%	A
5)-⑫-2	創業・起業を支援します	創業・起業セミナー受講者数（累計）	70人	12人（R5）	22人	累計	商観課	93.2%	B
5)-⑫-2	創業・起業を支援します	創業・起業に係る相談指導件数（累計）	25件	3件（R5）	15件	累計	商観課	202.7%	A
6)-⑬-1	自然の恵みを活かした暮らしを広げます	自然学習・自然体験イベントなどの実施回数（年間）	45回	47回	64回	年間	統合	142.2%	A
6)-⑬-2	自然に親しみながら、ひと手間かけた暮らしを楽しむ人を応援します	補助金による木質バイオマスストーブの導入件数（町補助金創設時からの累計）	190件	138件	153件	累計	企画課	103.0%	A
6)-⑭-1	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	橋梁の老朽化対策実施数（累計）	45橋	18橋	24橋	累計	建設課	102.5%	A
6)-⑭-1	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	歩道整備総延長	46.861㎞	45.861km	46,692km	累計	建設課	101.3%	A
6)-⑭-1	安心な暮らしを支える公共インフラの整備をすすめます	水道管路の耐震化率	24%	22%	23%	累計	上下水課	102.6%	A
6)-⑭-2	ずっと住み続けたくなる住環境づくりを推進します	高畠町定住支援に関する事業による支援件数（年間） ※移住定住促進事業、高畠町住宅リフォーム支援事業、木造住宅耐震改修事業の合計	70件	56件	75件	年間	建設課	107.1%	A
6)-⑭-2	ずっと住み続けたくなる住環境づくりを推進します	空き家バンク成約件数（累計）	9件	4件(R5)	7件	累計	建設課	140.0%	A
6)-⑭-3	冬期間の安全な生活環境づくりを行います	新たな除雪のしくみづくりに取り組む団体数（累計）	3団体	0件	1団体	累計	福祉課	166.6%	A
6)-⑭-3	冬期間の安全な生活環境づくりを行います	除排雪活動に継続して取り組む集落数（累計）	34集落	24集落	33集落	累計	福祉課	126.9%	A
6)-⑮-1	地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	福祉防災マップ作製集落数	54集落	45集落	50集落	累計	総務課	106.8%	A
6)-⑮-1	地域ぐるみで災害に対応できる力を高めます	防災の訓練・研修に取り組む自主防災組織数	70団体	50団体	103団体	累計	総務課	147.1%	A
6)-⑮-2	地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	運転免許証自主返納者数(令和元年度からの累計)	850人	321人（R5）	378人	累計	町民課	88.7%	B
6)-⑮-2	地域での犯罪や事故を未然に防ぎます	交通事故（人身）の発生件数（年間）	38件	42件	49件	年間	町民課	－	E

第6次高畠町総合計画　後期基本計画　評価指標(KPI)ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標(KPI)	目標値	現状値	R6末実績	目標値の種別	KPI所管課	進捗率	R6評価
7)-⑯-1	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	特定健康診査受診率(国保)	60%	58.7%	51.5%	年間	健子課	-	E
7)-⑯-1	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	1日30分以上、週2回以上運動習慣のある人の割合	30%	25.8%	24.9%	年間	健子課	-	E
7)-⑯-1	地域ぐるみで健康に対する意識を高め、生活習慣病を防ぎます	喫煙者の割合	12%	15.3%	15.1%	年間	健子課	-	E
7)-⑯-2	こころの健康づくりを進めます	自殺死亡率(人口10万対)	12.7以下 (R5～R9平均)	18.2 (H30～R4平均)	14.8 (R1～5平均)	年間	福祉課	86.5%	A
7)-⑯-3	安心して利用できる医療サービスを提供します	かかりつけ医を持つ人の割合	85%	83.2%	85.9%	年間	健子課	101.0%	A
7)-⑰-1	持続可能な地域の仕組みづくりを進めます	学集会を開催した集落数(累計)	72集落	54集落	66集落	累計	福祉課	114.5%	A
7)-⑰-1	持続可能な地域の仕組みづくりを進めます	地域支えあいマップを作成した自治会数(累計)	54	45	50	累計	福祉課	106.8%	A
7)-⑰-2	自分のできることを活かしたボランティア活動を広げます	地域での支えあいのボランティアに取り組んでいる団体数	6団体	1団体	1団体	累計	福祉課	0.0%	D
7)-⑰-3	誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援します	地域の茶の間の参加者数	延べ2,810人	延べ2,622人	延べ4,053人	年間	福祉課	144.2%	A
7)-⑰-3	誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援します	学びと交流の推進事業(サード)参加者数	400人	401人	358人	年間	健子課	-	E
8)-⑱-1	豊富な経験や技能を活用した生きがいづくりと社会参加を進めます	地域の茶の間の参加者数(再掲)	延べ2,810人	延べ2,622人	延べ4,053人	年間	福祉課	144.2%	A
8)-⑱-2	人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します	要介護認定率	17.0%	17.7%	17.9%	年間	福祉課	-	E
8)-⑱-2	人生を元気に過ごせるよう介護予防を強化します	集落を単位とするサロン数	90か所	79か所	81か所	累計	福祉課	99.7%	B
8)-⑲-1	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	集落を単位とするサロン数(再掲)	90か所	79か所	81か所	累計	福祉課	99.7%	B
8)-⑲-1	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	買い物、通院、除雪支援を行う町民主体の団体	6団体	1団体	1団体	累計	福祉課	0.0%	D
8)-⑲-1	高齢者の日常生活を支えるしくみをつくります	町民主体の移動支援	1団体	0団体	0団体	累計	福祉課	0.0%	D
8)-⑲-2	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	在宅療養(看取り)の普及啓発事業開催回数(年間)	1回	0回	2回	年間	福祉課	200.0%	A
8)-⑲-2	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	医療と介護の連携推進研修会の開催回数	5回	1回	2回	年間	福祉課	25.0%	C
8)-⑲-2	医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる体制をつくります	認知症サポーター数(累計)	3,200人	2,736人	2896人	累計	福祉課	102.4%	A
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	介護者研修会(交流会)参加者数(年間)	60人	37人	37人	年間	福祉課	61.6%	B
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	認知症カフェの利用者数(年間)	400人	12人 ※コロナ禍により開催1回のみ	124人	年間	福祉課	28.8%	C
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	見守りネットワーク協力機関数	80団体	66団体	66団体	累計	福祉課	0.0%	D
8)-⑲-3	介護について理解を深めるとともに介護者の支援を行います	チームオレンジの設置	1か所	0か所	0か所	累計	福祉課	0.0%	D
9)-⑳-1	自然を大切にするこころを育みます	食農教育の実践学校数	維持	7校	7校	累計	教総課	100.0%	A

第6次高畠町総合計画　後期基本計画　評価指標（KPI）ごとの進捗状況

No.	施策	評価指標（KPI）	目標値	現状値	R6末実績	目標値の種別	KPI所管課	進捗率	R6評価
9)-⑳-1	自然を大切にするこころを育みます	自然体験教室・自然体験イベントなどの実施回数	維持	47回	64回	年間	統合	136.1%	A
9)-⑳-2	豊かな自然を守り、次世代に継承します	有機・特別栽培水田面積	維持	649ha	605ha	累計	農林課	－	E
9)-⑳-2	豊かな自然を守り、次世代に継承します	耕作放棄地面積	維持	130ha	137ha	累計	農委	－	E
9)-㉑-1	環境にやさしいライフスタイルを定着させます	全ての世代を対象とした環境教育活動の実践回数	18回	16回	17回	年間	企画課	50.0%	C
9)-㉑-2	効果的・効率的なエネルギー対策に取り組みます	公共施設の温室効果ガス排出量	3,245t-CO2	4,656t-CO2	3,590t-CO2	年間	企画課	75.5%	B
9)-㉑-2	効果的・効率的なエネルギー対策に取り組みます	補助金による太陽光発電の導入容量（町補助金創設時からの累計）	890Kw	576.4Kw	702.2kW	累計	企画課	109.8%	A
9)-㉑-3	循環型社会の形成を進めます	小型家電回収事業	2,600kg	1,544kg	2,567kg	年間	町民課	96.8%	B
9)-㉒-1	歴史や文化遺産を正しく理解し、大切に守ります	歴史文化学習会の開催数（年間）	維持	45回（毎週開催）	45回	年間	社教課	100.0%	A
9)-㉒-2	文化遺産を活用し、潤いのある暮らしをつくります	文化遺産の活用事業数	4事業	2事業	2事業	年間	社教課	0.0%	D
9)-㉓-1	若者がまちや地域を知るための機会を提供します	町を知り学ぶ講座の実施回数	150回	146回	137回	年間	社教課	－	E
9)-㉓-1	若者がまちや地域を知るための機会を提供します	中高生や若者によるまちづくり企画事業の数	10事業	7事業	12事業	年間	企画課	120.0%	A
9)-㉓-2	夢や志を持つ若者を応援します	若者の夢や志を支援するプロジェクト事業の数	5事業	3事業	3事業	年間	社教課	0.0%	D
9)-㉔-1	町民が参加・協働するまちづくりのしくみをつくります	ワークショップ方式を導入した事業及び人材育成事業の数	10事業	7事業	17事業	年間	企画課	170.0%	A
9)-㉔-2	将来を見据えた行財政運営と職員育成を進めます	企業版ふるさと納税件数	6件	3件	6件	年間	企画課	100.0%	A
10)-㉕-1	高畠町の魅力を発信します	町公式LINEの登録者数	1,600人	981人	2143人	累計	企画課	133.9%	A
10)-㉕-2	効果的なプロモーションを行います	タウンプロモーションの実施回数（国内外）	10回	8回	8回	年間	商観課	0.0%	D
10)-㉖-1	観光者が楽しめる企画を充実させます	町主催の観光イベント参加者数	82,000人	64,397人	68,445人	年間	商観課	22.9%	D
10)-㉖-1	観光者が楽しめる企画を充実させます	「高畠町観光客数調査地点」におけるインバウンド観光客数(1月～12月分集計)	12,000人	9,215人	13,294人	年間	商観課	110.7%	A
10)-㉖-2	”高畠町”を体感(体験)できる機会をつくります	町独自の体験型イベント参加者数	1,520人	1,047人	現状値未満	年間	商観課	－	E
10)-㉗-1	高畠町と関りを持つ団体・企業・教育機関・地域を増やします	県外の企業・自治体・大学等と協働で行っている事業の数	15事業	12事業	19事業	年間	商観課	126.6%	A
10)-㉗-2	高畠町を応援してもらえる人を増やします	ふるさと納税の申込延べ人数	40,000件	22,228件	29,873件	年間	商観課	74.6%	B
10)-㉗-2	高畠町を応援してもらえる人を増やします	企業版ふるさと納税件数(再掲)	6件	3件	6件	年間	企画課	100.0%	A
10)-㉘-1	高畠町に住みたくなるきっかけをつくります	町内を会場とした移住相談対応者数	10件	3件	48件	年間	企画課	480.0%	A
10)-㉘-2	高畠町に移り住む人を応援します	移住・定住に関係する助成利用者数	26名	11名	12名	年間	統合	6.6%	D

めざす町の姿における令和6年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	R6年度実施した取組みの具体的内容
1	高畠町で子どもを産み育てたい人が増えている	学校教育と連携した健康や妊娠・出産に関する正しい知識の普及	健子課	・乳幼児ふれあい体験授業を7回実施（高畠中学校） ・思春期講座を2回実施（高畠高校）
		乳幼児や子育て家庭と児童生徒とのふれあい体験事業	健子課	乳幼児ふれあい体験授業を7回実施（高畠中学校）
		結婚推進事業による婚活支援イベント（婚活パーティー、婚活学校（講習）等の開催支援	企画課	ピュアナブライズ　3件　亀岡地区公民館運営委員会　1件
		婚活サポート事業（結婚相談所入会費や相談所を通じて結婚した人への補助金）の実施	企画課	5名　補助金額：計69，500円
		移住定住支援事業（若者世帯、子育て世帯の住宅購入に関する支援、町外から本町に転入する若者世帯に対する支援）	建設課	令和6年度移住定住促進事業助成金全交付件数：20件（52名）、うち若者（45歳以下）で、町内転入者への助成件数：新築分2件・中古購入分4件【45歳以上の町内転入者への助成件数：新築分2件・中古購入分3件】 ※残の9件は町内貸家居住者が新築・中古購入による助成
		親子の遊び場など育児環境の整備・充実	健子課	前年度から引き続き、屋内遊戯場において親子で楽しみながら取り組めるイベントを実施（親子でトレーニング、リトル＆キッズヨガ、ベビママヨガ、親子木工クラフト等）
		生殖補助医療費助成事業	健子課	補助件数　延7件
		伴走型相談支援の充実（産前産後のサポート事業、産後ケア事業、出産子育て応援給付金事業など）	健子課	・産前（妊婦訪問：1人、来所相談：15人、電話相談：133人） ・産後（母乳ミルク相談：27人、来所相談：39人、電話相談：141人） ・ママパパ学級（19回35人） ・祖父母学級（3回6人） ・すまいるサロン（9回53組） ・産後ケア事業（延18件） ・出産・子育て応援給付金（出産給付金：77人、子育て給付金：89人）
2	みんなが楽しみながら子どもを大切に育てている	屋内遊戯場を活用した子育て支援	健子課	育児講座（10回120人）お誕生会・みんなのひろば（12回131人） 健康相談日（6回77人）大きくなったかなぁ（12回89人） 育児相談（169件）
		サード（学びと交流の場）	健子課	開催回数84回　参加児童人数20人　支援員活動延べ人数237人 イベント開催5回　サード通信発行4回
		乳幼児健康診査・健康相談事業等の充実	健子課	・乳幼児健康診査、歯科保健事業 （4か月児：12回86人、9か月児：10回95人、1歳6か月児：10回115人、2歳児歯科：9回46人、2歳6か月児：6回58人、3歳児歯科：10回24人、3歳6か月児：9回113人）
		こどもの発達過程や、こどもの行動に着目した育児に関する講座や情報発信	健子課	ペアレントサポート講座1クール（全4回）：延15人参加
		子育てに関する適切な情報提供、子育て支援センターの充実等、子育てサービスの向上	健子課	こども家庭センター開設
		ひとり親家庭への支援（医療給付制度、生活応援給付金、こども家庭福祉相談）	健子課	生活応給付金1件
		関係機関と連携した総合的・専門的な相談支援体制の整備	健子課	こども家庭センター開設　システムを利用し相談した件数1134件
		親同士または親子の交流の場の提供	福祉課	「子ども・若者の居場所」を、ひきこもりや障がい等の区別なく居場所として町内2カ所に委託により運営

めざす町の姿における令和6年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	R6年度実施した取組みの具体的内容
3	学びの場が充実して、魅力ある“高畠人”が育っている	こどもたちに力をつける「探求型学習」の充実	教総課	総合的学習、プログラミング教育の実施
		地域行事や伝統行事への積極的な参加を通じた豊かな人間性の育成	教総課	安久津八幡延年の舞、青竹ちょうちん祭り参加、各地区行事参加
		学校・家庭・地域や関係機関との連携による通学路点検や見守り活動の充実	教総課	通学路安全点検（年2回）、全小学校での立哨活動（平均212日）
		感染症の流行や異常気象の発生に対応した危機管理体制の構築	教総課	学校経営概要に危機管理マニュアルを全校掲載
		多様な講座、学習機会の充実	社教課	中央、各地区公民館講座、文化・体育事業の参加者延べ人数
		使いやすい社会教育施設、体育施設・文化施設の整備	社教課	LED化の実施など。社会教育団体の公民館利用実績32,908人、資料館・記念館17,260人の合計
		町民講座の充実	社教課	福祉・健康から防災、文化など幅広い出前講座実施
		地域における青年層の交流・活躍の場の創出	社教課	成人式、青少年ボランティア地球、屋代地区若者参加事業の実施
		男女用同参画の推進	企画課	男女共同参画推進のための啓発事業として、６月の男女共同参画運動期間に文化ホールまほらで防災×福祉×男女共同参画連携セミナーを開催した。 １１月の女性に対する暴力をなくす運動期間に、生涯学習館でDV防止のためのパネル展を開催するとともに、文化ホールまほらにおいてパープル・ライトアップを実施した。 また、年間を通して町広報紙やHPにおいて国や県と連動した男女共同参画に係る周知・啓発を実施した。
		人権に関する知識の普及	町民課	町人権擁護委員による町内小学生を対象とした人権教室（年５回実施）や企業・ロータリークラブでの講演、夏まつりでの街頭啓発を実施し人権思想の普及を図った。
4	技の継承と新たな取り組みで、産業に活力が生まれている	スマート農業への支援	農林課	農業者に補助事業の情報提供を行い、事業要望調査において自動操舵システム装置付き田植機1台、ドローン1機で提出したが事業不採択
		中小企業等設備投資補助事業の活用	商観課	所有型１件、設備投資3件で計11,500千円の補助を行い、原材料やエネルギー価格の高騰、人手不足等、厳しい経営環境下の中にあっても積極的に設備投資を行う多くの事業者に支援を行い、生産性の向上につなげることができた。
		事業者マッチング・地域間連携への支援	商観課	果樹取り扱い新規事業者2件との申請及び返礼品受付実績
		デジタルポイントサービスへの支援	商観課	令和6年４月より行政ポイントの付与を開始した。行政サービスを受けた方に対し各々のポイントを、デジタルサービスポイントとして付与。実績：2,828,370ﾎﾟｲﾝﾄ付与
		次世代リーダー経営人材育成塾事業	企画課	リーダー人財育成塾開催事業（第３期） 事業実施期間：7月から翌年2月まで 受講生：５名（商店街2、農家2、個人事業主1） 伴走者：若手職員５名（町民、社会教育、総務、企画、商工観光課　各１名） 2月に卒塾式を文化ホールまほらにて開催し、一般の方、町内企業、学校関係者、高校生など多様な参加者80名が参加した。参加者からは、卒塾生へ対する応援コメントと町の将来に対する期待の声が多く寄せられた。
		たかはたブランド商品の認証	商観課	R6.4.1現在のブランド認証商品の商品数：32商品　　認証更新商品数：10商品
		タウンプロモーション	商観課	JR仙台駅たかはたフェアに併せ「駅たびコンシェルジュ」にて観光プロモーションを３日間実施。また、JR浦和駅でのフェアや横浜市栄区での催事において町観光PRｺｰﾅｰを設置し誘客活動を実施した。

めざす町の姿における令和6年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	R6年度実施した取組みの具体的内容
5	夢や希望が実現しライフスタイルに合った働き方ができている	高齢者や障がい者の就労支援の実施	商観課	シルバー人材センターに対する補助を行い、シニア世代の福祉の増進と能力・技能を活かした活動を支援 R6センター登録会員数:285名　受注件数1,479件
		小中高校生への職業体験事業（WAKU WAKU WORK）の実施	商観課	高畠中・・・10月23日実施　対象:2年生　183名　参加企業:31社　　高畠高校・・・10月16日実施　対象:1年生　63名　参加企業:11社
		創業・起業セミナーの開催	商観課	町創業支援事業計画に基づく創業セミナーを高畠町商工会5回開催。10名の受講。延べ50名。新規創業者2名。人事業の構築4件の補助事業採択。
		高畠町産業振興センターの運営（再掲）	商観課	タウン誌の掲載。コワーキングスペースを活用したイベントの開催を実施。産業振興センターの広報活動を行う。（起用相談セミナー等）。新規入居希望者の入居2件
6	安心して生活できる環境があり、心豊かに暮 らしている	地域における伝承の知恵や技術を伝える事業、講座の実施	社教課	昔語り事業、各地区の伝統に即した料理・自然観察事業の実施
		自然学習・自然体験イベントなどの実施	社教課	各地区教育キャンプ、各地区公民館冬遊び事業の実施
		自然学習・自然体験イベントなどの実施	農林課	①計3回 ・R6.10.29　高畠小学校4年生　50名・R6.12.11　高畠中学校（部活動）　15名 ・R6.12.20　高畠高校（選択授業）　11名 ②計5回 ・高畠広域活動組織　R6.7.7　44人　・二井宿地域資源保全会　R6.7.12　33人 ・屋代北部地区広域活動組織　R6.8.12　9人　・馬頭環境保全会　R6.10.20　9人 ・南佐沢環境保全会　R6.10.19　3人 ③計4回 ・R6.5.29　植樹地整備　15名・R6.6.16　植樹体験　16名 ・R6.10.21　植樹地整備　17名　・R6.11.30　苗木ポッド作成　11名 ④計3回 ・R6.12.13　高畠小学校3年生　54名　・R6.12.17　高畠小学校4年生　49名　・R7.3.27　もっくる　12名 ⑤計2回 ・R6.5.14　高畠小学校4年生　54名　・R6.5.15　高畠小学校3年生　58名
		木質バイオマスストーブの導入支援	企画課	高畠町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金及び高畠町フォーチュンタウン駅西分譲地再生可能エネルギー設備等導入促進事業費補助金の補助対象設備に、木質バイオマス燃焼機器を規定し、補助金を交付することで導入支援を行った。令和6年度補助実績は合計5件。
		高畠町定住促進事業	建設課	空き家バンク成約件数:売買2件・賃貸1件 【R6．2より町内の「宅建協会南陽」加盟の不動産関係業者へ、空き家バンク物件の登録補助業務を委託し、物件の「調査」「情報掲載」「現地対応」「仲介」「成約」等を依頼したこともあり前記の結果となった。
		高畠町住宅リフォーム支援事業	建設課	令和6年度住宅リフォーム支援事業助成金全交付件数:55件、うち子育て世帯6件・一般世帯49件
		行政と町民との協働による除雪等の体制づくり	福祉課	助け合い・支え合いの地域づくり会議を6地区で開催し、高畠地区と屋代地区では高齢者の課題である除雪支援について話し合った。
		自主防災組織と連携した地域の防災力の向上（活動支援、防災訓練（避難訓練）の実施など）	総務課	防災セミナーを実施。各地区自主防連協が研修等を実施。
		避難行動要支援者が安全に避難できるしくみづくり（個別避難計画の理解促進、研修会や訓練の実施）	福祉課	6/2 防災×福祉×男女共同参画連携セミナー　2/3　高畠町地域ミーティング 7～9月　個別訪問（71世帯）　9/22　総合防災訓練（二井宿地区）
		特殊詐欺被害防止の学習会の実施	町民課	和田地区高齢者講座の寿大学にて「落語で学ぶ悪質商法撃退法」の内容で特殊詐欺被害防止等の講演を実施した。

めざす町の姿における令和6年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	R6年度実施した取組みの具体的内容
7	一人ひとりが健やかで、ゆるやかに支え合っている	食育の推進など食を通じた健康づくりの推進	健子課	(1)食生活改善推進員会員研修会（災害時の食事、生活習慣病予防の食事、手作りおやつ） ▪実施回数：5回 ▪参加者数：141人 (2)食改の料理教室 ▪実施回数：4回 ▪参加者数：41人 (3)おやこ料理教室（学びと交流の場「サード」で実施） ▪実施期日：9月29日（日） ▪参加者数：27人 (4)ヘルスサポーター養成事業（働き世代対象） ▪実施期日：1月25日（土） ▪参加者数：16人 (5)その他 献立作成や栄養講話▪調理指導：実施回数：1回▪参加者数：24名 (6)広報誌への食に関する健康情報掲載
		運動習慣の定着に向けた健康づくりの推進	健子課	▪地域で健康運動を普及している「健康運動サポーター」への研修会を10回実施 ▪出前講座「日常生活に取り入れやすい身体活動のコツ+10」：計6回実施　延べ参加人数67人
		たばこ対策の推進	健子課	健診結果説明会で喫煙者に対して禁煙の働きかけを行い、禁煙相談のパンフレットを配布した。 希望者に禁煙相談を実施する計画だったが、希望者はおらず、実績なし。 広報等で禁煙の記事を寄稿した。またげんき館で禁煙についてのポスターを掲示した。
		ゲートキーパー養成研修会	福祉課	自殺対策事業として「こころの健康づくり講演会」を開催　3/7　14名参加
		医師会や医療機関との連携強化と質の高い医療サービスの提供	健子課	▪町内医療機関の医師等を対象にした保健医療懇談会を1回開催 ▪南陽市東置賜郡医師会及び管内市町と連携して休日診療所の運営を行っている。（令和6年度休日診療所稼働日数71日。）
		住民同士による地域状況や生活課題の共有と解決に取り組む体制づくり	福祉課	助け合い・支え合いの地域づくり会議を6地区で開催（高畠地区：12/18、二井宿地区：2/14、屋代地区：9/29、亀岡地区：11/20、1/28、3/11、和田地区：2/12、糠野目地区：11/5、全体会：2/26）
		研修会等の開催によるリーダー育成	福祉課	地域を支える人材を増やし、リーダーとなってもらうために助け合い▪支え合いの地域づくり会議を6地区で開催（高畠地区：12/18、二井宿地区：2/14、屋代地区：9/29、亀岡地区：11/20、1/28、3/11、和田地区：2/12、糠野目地区：11/5、全体会：2/26）。
		幅広い年代に対するボランティア教育▪講座への支援、体験学習の機会の提供	福祉課	ボランティアスクールの開催（手話ボランティア養成講座）
		こども食堂、認知症カフェなど当事者同士の仲間づくり、居場所づくりの支援	福祉課	認知症カフェの開催日の周知を行い、相談対応時必要な方に情報提供を行う
8	年を重ねても誰もが自分らしくいきいきと暮らしている	世代間交流による高齢者の社会参加の促進	福祉課	屋代地区地域の茶の間「もりの里ひなたぼっこ」と放課後児童クラブクレヨンクラブ利用児童による七夕飾り（7/3）、夏休み昼食会（8/6）、節分（2/4）の実施
		介護予防等自主的な取り組みを行う高齢者の通いの場を拡充する	福祉課	活動費の一部助成や、生活支援コーディネーターが定期的に訪問し、運営に関する相談支援と、未設置集落への働きかけを継続して行った。また、担い手を対象とした交流会を実施し、サロンに役立つ講座や研修会なども行いながら、情報交換▪交流を図った。 ふれあいサロン活動への継続支援（のべ85回）、新規立ち上げ支援（2自治会）、ふれあいサロン活動費助成（62自治会）、サロン交流会の実施（7/5）、町広報へのサロン紹介記事掲載（6回）、地域の茶の間運営団体交流会の開催（11/27）
		高齢者世帯の見守り活動の推進	福祉課	民生委員▪児童委員の訪問活動（活動日数：6,580日※71名） ふれあいサロン活動への継続支援（のべ85回）、新規立ち上げ支援（2自治会）、ふれあいサロン活動費助成（62自治会）、サロン交流会の実施（7/5）、町広報へのサロン紹介記事掲載（6回）、地域の茶の間運営団体交流会の開催（11/27） 老人福祉相談員の訪問活動

めざす町の姿における令和6年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	R6年度実施した取組みの具体的内容
8	年を重ねても誰もが自分らしく いきいきと暮らしている	デマンド交通、町民主体の移動支援	福祉課	年間利用者延べ20,803人（うち65歳以上83%） 走行距離161,553km（前年比1.08） 和田地区、二井宿地区を対象とした高齢者の移動に関する実態調査の実施、移動支援ボランティア視察研修の実施
		多様な担い手によるサービスの創出	福祉課	認知症サポーター養成講座からボランティア活動に参加いただける方の発掘を行い、今後の活動へつなげて行く
		認知症カフェの開催	福祉課	町内2か所で開催している。2か所合計回数36回、延べ人数207名
		町虐待防止ネットワークによる情報共有、早期発見	福祉課	R7.1.20実施。民生委員、老人相談員、福祉サービス事業所等27名出席 高齢者虐待対応状況や虐待防止活動報告、各関係機関の連携等説明
9	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	小中学校の食農教育、自然体験教室、森林学習体験活動の開催	教総課	学校農園の実施、生産者交流、地元産食材活用による給食
		小中学校の食農教育、自然体験教室、森林学習体験活動の開催	農林課	①計3回 ・R6.10.29 高畠小学校4年生 50名 ・R6.12.11 高畠中学校（部活動） 15名 ・R6.12.20 高畠高校（選択授業） 11名 ②計5回 ・高畠広域活動組織 R6.7.7 44人 ・二井宿地域資源保全会 R6.7.12 33人 ・屋代北部地区広域活動組織 R6.8.12 9人 ・馬頭環境保全会R6.10.20 9人 ・南佐沢環境保全会 R6.10.19 3人 ③計4回 ・R6.5.29 植樹地整備 15名 ・R6.6.16 植樹体験 16名 ・R6.10.21 植樹地整備 17名 ・R6.11.30 苗木ポッド作成 11名 ④計3回 ・R6.12.13 高畠小学校3年生 54名 ・R6.12.17 高畠小学校4年生 49名 ・R7.3.27 もっくる 12名 ⑤計2回 ・R6.5.14 高畠小学校4年生 54名 ・R6.5.15 高畠小学校3年生 58名
		有機農業を核とした環境保全型農業の推進	農林課	環境保全型農業直接支払交付金支払 R6（面積253.46ha、農業者88名）※前年より面積6.07ha増、農業者3名増 有機農業産地づくり推進事業（生産振興、消費促進） 事業実績額2,510,110円
		耕作放棄地対策事業	農委	① 農地法第30条に基づき耕作状況等を確認するため、8月末に農業委員・農地利用最適化推進委員等による農地パトロールを実施した。 ② 荒廃農地等利活用促進事業については、広報で周知。予定していた実施者の都合により年度内着工は延期となり、令和6年度の実績はなし。
		環境講座、イベントの実施	企画課	環境にやさしい面白い活動を生み出す場として環境ワークショップ、「よれはたかはた」を年5回開催。11月3日には「エコフェスタ」を開催し、200人以上の方が来場した。 環境アドバイザー事業として、「エコドライブ教習会」を開催し、町内企業の新規採用職員など20人が受講した。かんきょう塾では無農薬大豆を使用した「とうふ作り教室」を開催し14人が参加した。
		省エネルギー設備・再生可能エネルギーの導入支援	企画課	高畠町再生可能エネルギー設備導入事業費補助金及び高畠町フォーチュンタウン駅西分譲地再生可能エネルギー設備等導入促進事業費補助金の補助対象設備に、太陽光発電設備を規定し、補助金を交付することで導入支援を行った。令和6年度補助実績は合計9件、導入容量は83.8kW。
		小型家電回収事業	町民課	7月13日と20日の2日間で各地区公民館前などを会場に小型家電回収事業を実施した。（2，567kg回収）
		町民講座、歴史体験学習講座の開催	社教課	考古資料館勾玉づくり教室、考古学に関する普及事業、郷土の歴史探求事業の実施
		観光地学習会の開催	社教課	亀岡文殊所蔵文化財を調査のうえ、公開を行う事業支援の実施
		観光地学習会の開催	商観課	高畠高校総合学習へ出前講座1回、二井宿上宿公民館へ出前講座1回実施
		中高生や若者によるまちづくりの企画と連携した学習機会の提供	社教課	福祉・健康から防災、文化など幅広い出前講座の実施

めざす町の姿における令和6年度に実施した主な取組み

No.	めざす町の姿	主な取組み	担当課	R6年度実施した取組みの具体的内容
9	みんなで未来に向けたまちづくりを進めている	中高生や若者によるまちづくりの企画と連携した学習機会の提供	企画課	地域とつながる学び場創出事業（デジ田事業及び地域おこし協力隊事業） ①10,000人アートチャレンジプロジェクトを実施（6-8月）。青竹ちょうちんまつりで、成果物モザイクアートを披露した。 中高生　24名、撮影合計枚数　10,117枚 ②たかはたフェスプロジェクト 中高生が感じる面白いことや、やってみたいこと、高畠の魅力が詰まった町民参加型のイベントを企画し、糠野目生涯学習館をメイン会場に開催した。　申込者数　240名 ③リアルワークプロジェクト 町内企業や地域の方と関りながら、働くや稼ぐことを多面的に理解するための取組み。地域課題や中高生のアイデアを基に、サービスを設計し、新たな価値を提供し対価を得る。活動で得られた売り上げは、中高生の学び場の活動に充てられ、今年度は売り上げから新プロジェクターを購入し、次年度以降の中高生の活動に使用される予定。　期間総合売上金額（粗利）　116，661円
		異世代交流、情報交換機会の提供	社教課	公民館の軽スポーツや体験学習を通して世代交流をおこなう事業の実施
		多様な年代を対象としたまちづくりワークショップの実施	社教課	亀岡地区公民館改築にかかる意見交換事業、公民館の世代交流事業の実施
		行政組織力の向上と職員の人材育成	総務課	町独自の研修、外部機関による専門研修への派遣を積極的に実施
10	高畠町の魅力が伝わり、訪れる人、戻る人、移り住む人が増えている	SNS（町公式FB、YouTubeチャンネル、マスコットキャラクター、LINEなど）を活用した観光情報の発信	商観課	マスコットキャラクターはTwitterや公式LINEにて、町イベント関係については主にInstagramにて随時情報発信を行った。イベントについては遅くともに週間前の発信を実施。また、SNS広告（有料）を活用し若い層の誘客に努めた。
		町外でのプロモーション事業の拡大	商観課	6年度はJR浦和駅での「たかはたフェア」を初開催。次年度、JR錦糸町駅での催事開催検討に向けて錦糸町駅ビル訪問・打合せを進めてきた。
		観光コンテンツの選択、磨き上げ	商観課	高畠ならではの観光資源を活用したイベントの実施（歴史公園一帯でのライトアップ）や近年人気急上昇の瓜割石庭公園の環境美化活動を実施。また、日本三文殊の亀岡文殊との連携をより密にし、伊達三日月街道スタンプラリーや春・秋の合同イベント開催などの連携事業を実施してきた。
		首都圏の大学等のフィールドワーク等受入事業	企画課	東大フィールドスタディー 受入人数5名、現地活動3回、オンライン探求授業支援　25回 高畠高校との連携し、高畠ゼミの探求学習の支援等の実施。 東大パンフレットに当町の取組みが掲載。 外大スタディーツアー 受入人数合計17名、現地活動　9月及び翌年2月の2回 高畠中学校2学年と連携し、探求学習の支援として特別授業を実施。外大院生2名も加わった。
		移住・定住者向けの総合相談窓口の設置	企画課	企画課において、移住希望者からの相談対応を実施した。必要に応じて建設課や農林課等の関係課へつなぎ、各種相談への対応を実施した。
		移住・定住に係る制度の充実と周知活動	企画課	これまで県と町で実施していた食の支援、住まいの支援、若者・子育て世帯移住支援が令和6年度より県の単独事業となった。移住相談者に対して、これらの制度周知を実施した。 国・県・町で実施する移住支援金について、東京圏からの世帯移住者（子ども2名分加算あり）へ300万円の支援を実施した。 町HPにおいて、各種支援制度の周知を実施した。